

防 災 防 犯 安 全

ひとくちメモ

防犯チェック

車上ねらい対策編

- 車を離れるときは必ず鍵を掛ける
- 車の中にバッグなどを置いたままにしない
- 人目に付きにくい所に長時間駐車しない
- 車に警報装置を取り付ける

【防犯まちづくりが 始まっています】

市内では今井地区、袋井北地区、笠原地区、三川地区が自治会や自治会連合会を中心に、犯罪のないまちづくりに向け様々な活動に取り組んでいます。各地区の取り組みを紹介します。

いまい安心・安全まちづくり会議

週末の午後8時から地区内を防犯パトロールしています。犯罪に遭わないためのポイントを説明したチラシ作りにも取り組む予定です。



袋井北地区安心・安全まちづくり会議

防犯のための講習会を開催したり、防犯看板を設置したりして、防犯意識を高めていきます。



子どもたちが犯罪に遭わないために、地区内のパトロールも行う予定です。

笠原地区住民安全・安心まちづくり委員会

笠原保育所・幼稚園・小学校の園児・児童に防犯ブザーを配り、万が一に備えています。

地域が一丸となって安全安心なまちづくりに取り組めるようアンケートの実施や標語の募集を行いました。



三川地区安心・安全まちづくり会議

平成15年度から活動している三川地区では、毎月2回防犯パトロールを行っています。また、地区内の自治会女性部の皆さんが、消防団と協力してポンプ車でパトロールを行っています。

◎地域振興課市民活動支援係

44 3107

レッツ・エンジョイ

Let's Enjoy EcoLife

アースファミリー事業

“みんなでチャレンジ!エコライフ”

地球にやさしい

生活をしよう!

◎環境衛生課環境保全係 44-3115

家庭からの二酸化炭素を減らそう
日本では平成15年中に、12億4,761万t(世界第4位)の二酸化炭素が排出されました。

その内約5分の1の2億5,000万tは家庭からのものです。スペイン(世界第20位)やインドネシア(世界第21位)一国全体の排出量に匹敵します。

みんなでチャレンジ!エコライフ
市や県、県地球温暖化防止活動推進センターでは、日常生活の中で地球温暖化防止の取り組みを始めようとする家族をサポートする「アースファミリー事業」を行っています。

県内で723の家庭がアースファミリー事業に参加
昨年、県内17市町村で723の家庭が取り組み、40tの二酸化炭素の排出を削減しました。この量は、20のペットボトル約1,056万本になり、約21万㎡(東京ドーム4.5個分)の広さの森林が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。

エコライフチェックシートを市ホームページからダウンロードして、地球と家計にやさしい「エコライフ」生活を始めましょう。

市内では、40世帯の皆さんが「アースファミリー事業」みんなでチャレンジ!「エコライフ」に取り組んでいます。

【取り組み内容】
燃やせるごみの日に「ごみの重さを計って、ごみ減量をチェックする。」
「電化製品の主電源を切る」「近くには自転車や徒歩で出掛ける」
など20項目のエコライフをチェックする。
電気・ガス・水道ガソリンの使用量をチェックする。

